人間総合科学学術院人間総合科学研究群
教員研究分野一覧（3年制博士課程）

＜パブリックヘルス学位プログラム＞

専門分野	教員名	研究内容
パブリックヘルス	市川政雄	事故防止対策の効果検証、 高齢者のモビリティと健康、グローバルヘルス研究
	伊藤智子	介護保険制度・地域医療・看護業務・保健医療福祉行政における評価、公的統計・医療介護レセプトデータ等のビッグデータ研究
	伊藤宗親	臨床心理学，心理アセスメント，精神科ならびに内科における心理支援，青年期の発達課題，高齢者の認知機能
	岩上将夫	疫学、臨床疫学、薬剤疫学、遺伝疫学、デジタルヘルス、リアルワールドデータ、バイオバンク、ゲノム、オミックス、機械学習
	大久保麗子	腎疾患領域の臨床疫学、慢性疾患の QOL、慢性疾患の経済評価
	大藏倫博	生活習慣病の予防、高齢者の介護（転倒、認知症）予防、運動プログラム開発
	大谷保和	臨床社会心理学、心理アセスメント、薬物・アルコール依存症者の再発リスク、完全主義と精神的不健康
	麻見直美	運動・スポーツと食生活・栄養、骨代謝と栄養・運動、栄養アセスメント、食育
	片岡千恵	学校保健、学校健康教育、保健の学力、保健の授業分析、教材開発、青少年危険行動の防止
	河野禎之	臨床心理学、高齢者と認知症、認知症と社会、Dementia Friendly Community、SOGI/LGBT、ダイバーシティとインクルージョン
	KIM Satbyul Estella（ｷﾑ ｾｯﾋﾞｮﾙ ｴｽﾃﾗ）	環境疫学、プラネタリーヘルス、環境曝露および関連する健康影響の数理モデリング、気候変動と健康、大気汚染、極端気象と脆弱集団、熱波・熱帯夜
	近藤正英	経済学の保健医療政策への応用、慢性疾患医療の経済分析、開発途上国のヘルス･ファイナンシング、その他
	杉山雄大	ヘルスサービスリサーチ、医療政策、レセプト解析、データリンケージ、質問紙調査、糖尿病、研究評価
	辻大士	運動・スポーツ疫学、運動・スポーツや健康の格差対策、地域づくりによる介護予防
	中田由夫	運動疫学、産業保健、介入研究、トランスレーショナルリサーチ、普及と実装科学
	橋爪祐美	高齢化する要ケア者と家族支援（勤労女性介護者のヘルスプロモーション）、モンゴル国での富山型デイサービスの社会実装、トランスナショナルケアギバーの研究，理学療法・作業療法に関する研究、質的研究法
	堀愛	産業医学、職域コホート研究、がん疫学、栄養疫学、ワクチンで防げる感染症対策、生活習慣病予防、医療従事者の抗がん剤曝露
	松田侑子	発達臨床心理学、労働者のメンタルヘルス、きょうだい、キャリア発達、対人援助職、ペアレント・トレーニング
	水野雅之	発達臨床心理学、パブリックメンタルヘルス、大学生のメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス、スティグマ

	宮　脇　敦　士	健康政策・医療政策；因果推論；経済学・社会学をはじめとする社会科学理論の医療分野における実証；医師の診療行動；医療の質；健康の社会的要因
	村　木　　功	コホート研究、循環器・糖尿病疫学、栄養疫学、リアルワールドデータ解析、政策評価、たばこ対策、がん検診
	森　田　展　彰	アディクションの要因および援助の研究、子ども虐待・ドメスティックバイオレンスの被害や加害に対する介入や援助、トラウマの心理療法
	門　間　貴　史	地域保健、産業保健、メンタルヘルス、ストレス、女性・子ども・高齢者・労働者・アスリートの健康と生活習慣、睡眠の質と心理社会的要因
	吉　田　都　美	疫学、薬剤疫学、臨床疫学、公的医療ビッグデータ（NDB・DPC）研究、医療 AI・疾患予測に関する研究、母子保健・小児疫学
	渡　邊　多永子	ヘルスサービスリサーチ、政府統計・レセプト解析、家族介護者、医療・介護サービスの質の評価

【連携大学院方式】

パブリックヘルス	×※牛　山　　明	生活環境学、環境生理学、環境リスク学、環境リスクコミュニケーション
	※川戸　美由紀	保健統計と二次的利用、健康寿命、コホート研究と臨床疫学、データベースと疫学的解析
	※冨　尾　　淳	健康危機管理、災害医療・公衆衛生、緊急時のリスクコミュニケーション

※印は連携大学院教員（国立保健医療科学院）
×印は学生募集なし

（注）連携大学院方式の志願者は、市川政雄教授（masao@md.tsukuba.ac.jp）にも、
併せて連絡を取って下さい。

2026 年 4 月現在